



ハチドリ

平成30年8月30日
気仙沼市立大谷中学校
気仙沼市本吉町三島 60-4
TEL 44-2004
FAX 44-3742
はゆね・はやおき・あさごはん

2学期の抱負

長かった夏休みも終わり、2学期が始まりました。8月27日(月)、2学期始業式で各学年の代表が発表した2学期の抱負を紹介します。

1年1組

矢田 一成

僕は2学期にやりたいことや挑戦したいことが3つあります。

1つ目は、今日実施される実力テストでよい結果を出すことです。夏休みは課題に取り組むことで、苦手を克服しようと努力しました。今回の実力テストは中学生になって初めての実力テストでもあるので、後で返ってくるテストの結果を自分なりに反省することで、苦手の克服に力を入れて取り組みたいと思います。特に英語に力を入れて取り組んだので、期末テストの時よりも良い点を取れるようにしたいです。

2つ目は、運動会で行われるよさこいを頑張りたいです。代々受け継がれるよさこいには、先輩方が創作して踊る部分があります。しっかり振り付けを覚え、伝統をつないでいけるようにしたいです。小学校では5月に開催していましたが、夏休みが明けた9月に実施することにも新鮮さを感じています。そして、よみがえったこの新しいグラウンドで運動会ができることに、感謝して全力で運動会に参加したいと思います。

3つ目は漢字検定に挑戦することです。検定は10月にあるので、9月ぐらいから早めに問題集を解き、できれば一日に2ページの漢字練習に取り組むことで、漢字を確実に覚えられるようにしたいと思います。

この3つの挑戦を通して、自分がさらに成長できる2学期にしたいと思います。一日一日を大切に、クラスの仲間や先輩方、先生方とともに充実した学校生活を過ごしていきたいです。



2年1組

遠藤 海晴

私には、2学期に頑張りたいことが3つあります。

1つ目は新人戦です。大谷中学校サッカー部は、他の中学校よりも人数が少ない中での参加になります。一人一人の力を十二分に発揮し、他の中学校に大魂を見せつけられるよい試合ができるように、練習にさらに力を入れていきたいと思います。

2つ目は学習発表会です。合唱コンクールでは、今年度も指揮者をさせていただくことになりました。相棒の伴奏者と一緒にクラスをまとめ、オール最優秀賞を狙います。いや、とります。

3つ目は、生徒会執行部の仕事です。運動会や学習発表会など、2学期はたくさんの行事があります。行事を盛り上げ、生徒会テーマである「青春～一生に一度の思い出を～」を全校生徒全員で作りに上げていきたいと思います。

また、来月にはこれまでの先輩方が受け継いできたバトンを私たち下級生が受け継ぐ大事な生徒会役員選挙があります。2年生からは生徒会長に私も含めて4人が立候補しました。4人とも大谷中学校のことを思い、先輩達や友達の力を借りながら、選挙に向けて準備しています。みなさんの応援をよろしくお願いします。

2学期は、昨年度よりも大きな役割を担うことが多くありますが、みんなで協力し、よりよい学校、よりよい学級になるように頑張っていきたいと思います。



僕が2学期に頑張りたいことは2つあります。

1つ目は運動会です。僕は運動会で紅組の団長をします。団長になってすぐは緊張や不安などがありました。しかし、練習していくうちに、同じ紅組のメンバーに支えてもらい、次第にそれらがなくなりました。今では団長として紅組のみんなを引っ張っていくという気持ちができきました。また、今年の運動会は僕達三年生にとって最後の運動会なので思いっきり楽しんで、負けても悔いのない最高の運動会にしたいです

2つ目は学習面です。僕は数学と理科が苦手です。苦手だからといってそのまましておいても良いことは何一つないので、人の2倍も3倍も努力して苦手を克服したいと思います。テストでも良い点をとって入試までに「努力は無駄ではなかった。」と思えるくらい頑張り、合格したときには「自分の入りたい高校に入れて良かった。」と思いたいです。

充実した中学校生活になるよう、行事、勉強に力を入れていきたいです。



運動会練習風景

連日の秋雨のため、校庭が使用できずに屋内練習ばかりです。週末の天気も心配されますが、生徒達は一生懸命に練習に励んでいます。



よさこい練習（3年生が1，2年生に振り付けを教えます）

大縄跳びの練習（1年生）

全校道徳

8月29日（水）1校時、全校道徳が行われました。講師に李 久惟 氏をお招きし、「日本の中学生（大谷中生）に伝えたいこと」と題して講演いただきました。

李氏は15言語以上を話すマルチリンガルであり、スポーツ中継やテレビでの通訳として活躍。また、沖縄によしもと興業が設立した専門学校で講師をしています。

今年2月、台湾での震災に、大谷中生が励ましのメッセージを送りました。李氏はこのメッセージを台湾の花蓮に届けていただいた方です。大谷中生がメッセージを記した旗は、慈濟という仏教団体へ届けられました。

実はこの団体は、東日本大震災のとき、気仙沼地域に真っ先に義援金を届けてくれた団体です。台湾を中心に世界各地で集められた義援金は、気仙沼地域8千世帯に届けられ、その額は数億円に及びます。「情けは人のためならず」。東日本大震災のとき一生懸命尽くした花蓮の人々。やがてめぐりめぐって花蓮の人々にメッセージが届けられ、人々は皆涙を流したそうです。感謝を期待しない。人のためにすることは誰かにつながる。勤勉で律儀、人の喜びを自分の喜びとできる日本人の心を大切にしてほしいと、李氏は話されました。

